レインボータウンFM74
　伊藤広規　「旅と人と音楽と」
（第 ７４回 2019.3.27 OA）

【第７４回オープニング】
みなさんこんばんは。ベーシストの伊藤広規です。
レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」
今夜は第７４回目！それでは行ってみましょう！

【新】【説明１】
この番組は、周波数８８.５メガヘルツ「レインボータウン FM」から 江東区をキーステーションにその周辺のエリアにお届けしています。
サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク】※((の中はボツ))
３月も、もう終わりに近づいてきました。卒業や仕事は年度納めと、いろいろな区切りの時期ですね。

今夜はまずは、Art Farmer 1977 年 アルバム crowl space　からChanson

【曲途中】
ちょうど１年ほど前にアートファーマーのクロールスペースを紹介しましたが、このアルバムを聴いてた頃に私にとって１つの区切りの時がありました。
1977 年、まだアマチュア気分が抜けきらなくてプロと呼ばれながらもピンと来ない。その頃 村井邦彦さんと知り合い、ダイレクトカッティングのレコーディングがあるから見においで！と、誘われて田町のアルファスタジオに一人で行ったんです。スタジオのドアを開くと、目の前にベース・アンソニージャクソン、ドラム・ハービーメイソン、キーボードはパトリスラッシェン、ピアノに深町純、ギターはリーリトナー。この人たちがセッションでレコーディングしているのを見たんです。ジェジェジェ！！
私、それまでも出会ったミュージシャンには 必ずライバル意識を持ってしまうんですが、その時の相手が相手なんで暫く悩みましたが、自分は自分！という境地になって打開しました。
このアートファーマーのクロールスペースもダイレクトカッティングで録音してます。私がみたあの時のアルファスタジオの光景ときっと似た環境だったのでしょうね。1990 年台にギターの松原正樹と「トライフォース」というフュージョンバンドや、青山純と futureday というアンビエントロックバンドをしていた時も、仲間で一斉にレコーディングする時は緊張感があって、いい〜んです。

数年前から、美しいフュージョンをしたいなぁと、ギターの養父貴君と年に数回セッション Live を始めました。養父君の美しくキレがあるギターと私のやさぐれベースが、まるで「サビの効いた江戸前寿司」って感じのフュージョンになるんですね。なので、「和SABI 」というユニット名をつけて、この曲のような大人っぽくてカッコいいフュージョンをLive でしてます。
明後日の29 日 金曜日に、横浜でライブがあるので、サビの効いた「和SABI 」をぜひ観に来てください。

【1 曲目が終わり２曲目】
２曲目はAmerica 1971 年 アルバム America からA horse with no name

【2 曲目途中】
America は、ロンドンで結成されたアコースティック３人のバンドで、メンバー皆 国籍はアメリカなんですが、ロンドン育ちで、それまでほとんどアメリカで生活はしてないんですね。なので故郷に憧れてバンド名が「アメリカ」この曲の邦題は「名前の無い馬」
((日本ではこの１曲きりのヒットという感じですが、アメリカではこの後も結構いいアルバムを作って流行らせてます。))

この曲が流行ったのは私が高校生。当時私、放送部に入ってまして、昼休みに好きなレコードを持って行ってかける。２台のレコードプレーヤーを使ってクロスフェードしながら、ツェッペリンのようなハードロックの後にアコースティクな物をかけたり。知っている音楽の知識は誰にも負けないと思ってまして、選曲にはかなり自信があったのでDJ になれるかも？と、夢のようなことを思ってました。

【間】
アメリカがこの曲を作ったのは 20 歳にならない頃で、奴らはなんて早熟なんでしょうね。
((メロディがループしてるようにリフレインして、心地よくなります。))
歌詞も 砂漠の中を名も無い馬にまたがって、空には雲も風もなく。砂漠の中でなら 人は自分の名前を忘れずにいられる。そこには誰もいないから。誰も人に苦しみを与えはしないから。なんて、いう詩なんですね。思春期にしか書けない詩なのかもしれません。私の年齢になると、「忘れ様にも思い出せない事が多くなる」お年頃ですから。(笑)

【2 曲目が終わり３曲目】
３曲目はNeil Young　ニールヤング 1992 年 アルバム Harvest Moon からハーヴェストムーン

【曲途中】
((「名前の無い馬」と同じ時期、ギターのオープンチューニングとコーラスが際立ったバンドがありました。CSNY　クロスビー　スティル　ナッシュ・アンド ヤング。このバンドの))
ニールヤングがソロで「ハーベスト」というアルバムを出したのが 1972 年。
((これもいいアルバムですが、))

この曲はそれから 20 年後の 1992 年にリリースしたアンサーソングなんです。恋をして家族になり、長く連れ添って、もう一度相手を愛おしく思う。という歌詞で、遠い記憶を思い起こしながら これからも旅していくような気持ちになれる曲です。
((長いキャリアを重ねて、こういうアルバムを作れるのはすごいと思います。初心ってのは、忘れがちで流されがち。この曲を聴いてると、リフレッシュというか、リセットできますね。))

今日で「大江戸ワイドスーパーイブニング」を卒業するコメンテーターのスマイリーさんに贈りたいなぁと「名前の無い馬」と「ハーベストムーン」をかけてみました。
毎回 私のコーナーが終わると、コメントしてくれて、私にまつわる曲を選んでかけてくれる。どうもありがとう！回を重ねるごとにスマイリーさんのコメントが楽しみになってきて励みになりました。
今日で卒業。寂しいですが、これからの活躍を楽しみにしてます。お疲れさま！
【間】
数日前から北海道をドライブしながら旅してます。好きな曲を聴きながら車を走らせると、大地の雪が溶け始め、春が芽吹き始めているのがわかります。途中、牧場で生まれたての仔馬を見てきました。小さくて、名前もない仔馬。可愛いかったですよ。襟裳岬に向かう道の駅には「昆布ソフトクリーム」これがうまいんです！風はまだ冷たかったので２個は食べられませんでしたが。
スマイリーさんも、いつかバイクで風を感じて日高地方を走ってみてくださいね。私がセレクトした広規ラジオのライブラリを持って。
《曲終わり》

【エンディング 短い】
さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？
この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。
URL は Kokiradio.net（コーキレディオドットネット）、アルファベットでケーオーケーアイ　アールエーディーアイオー　ドットネットです。
メッセージをくださった方の中から毎月１名さまに、プレゼント。
広規チャリティバンダナと
広規ラジオ 特製グッズをプレゼントします。
今月もドシドシメッセージお送りください。
では、来週も水曜日
この時間に！

《間》
伊藤広規でした。